



野良配り

綾・早川農苑

<http://www.geocities.jp/hayakawanoen/toppage.html>

始めまして、綾町で百姓をしています早川ゆりと申します。平成5年10月に、新規就農致しました。以前は農業資材等の会社を経営していましたが、農家の方々とお付き合いを通して食に対する意識が変わったことで自給自足を目指し、安全で美味しいものが食べたい、そしてみなさんにも食べてもらいたい、という志で夢を実現するために始めました。

最初は土地も無い、機械も無い全くゼロからのスタートだったのですが、今では完全無農薬無化学肥料という自然生態系農業への苦勞に対する世論の理解も次第に増え、全国からの研修生や援農の方々に助けられ、お得意様に支えられどうにか頑張っております。

地球の一部である田畑を大切にしたい、命の源である土を環境にやさしい循環型として自然のエネルギーをいっぱい受けた生産物を育てたいと思っています。

いつでも大地の恵みと自然がお待ちしております。1度足を運んでみてはいかがでしょうか？スタッフ一同、放飼い地鶏、犬、猫、鯉でお迎えますヨ！

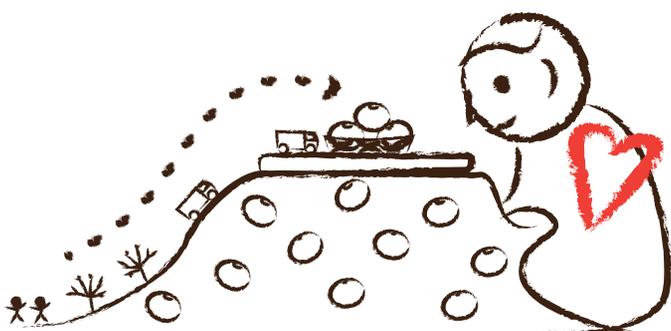
元気の出る旬の野菜宅配もあります！

早川農苑から、採れたて旬の作物を消費者の方々に直接お届けします。にんじんマークのダンボールで毎週火曜日に全国に発送しています。

詳しくは当社 Web サイトまたは下記までお問い合わせください。

TEL&FAX 0985-77-0900(作業所)

E-mail hayakawanoen@yahoo.co.jp



うみがめのたまご <http://umitama.info/>

『うみがめのたまご』は2011年7月、東日本大震災をきっかけに宮崎に避難・移住してきたお母さんの会からはじまりました。

活動の中心は想いを分かちあう交流会。はじめのうちは、当事者だけの集まりでした。やがて、被災地から遠い宮崎にも東日本から多くの人たちが来ていることを知り、「自分も震災について一緒に考えたい」という地元宮崎の人たちや、「宮崎いいな、もっと教えて!」という東日本の人たちの参加が自然に増えていきました。開催は50回を超え、今ではおよそ380の家族がゆるやかにつながっています。

震災から学べべきことは何なのか、南国の豊かな自然の恩恵に感謝しつつ、暮らしのなかで見つめる日々です。

去年は、言葉では伝えられないいろんな想いを甘いみかんにこめて、東日本に住みたいせつな人たちに送りました。送る人、受けとる人、みんなが笑顔になる「とどけこたつみかん」。今年はもっとたくさんの人たちに、ほんとうのおいしさを届けます。

野良! <http://nora.asia/>

野に良いと書いて「野良」。「良」は実際はあて字で接続詞のようなものだそうです。

「野に」「野で」「野の」・・・など何にでもつけられる便利な言葉。野良仕事、野良着、野良周り・・・野良〇〇というとなんだか緑がっぱいのイメージ。

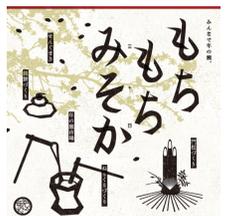
一方で後ろに何もつけず「野良」とに言ったときはどんな印象があるでしょう？

なんだか悪ぶれた、社会のはみだしもののようなイメージがないでしょうか。野良犬、野良猫も緑いっぱいというよりは、ちょっと薄汚いイメージです。

そのとき「野良」が意味するのは、きっと「つなげられていない」という意味。「野良」が人を指すとしたら、それは「社会システムにつなげられていない人」かもしれません。野良はこれまで落ちぶれた「はぐれもの」のようでしたが、今こういう時代になると、システムに依存することのない自立した生き方として見直される時代になりました。

お金で何でも手に入る社会。便利さとは裏腹に大切なものを捨て去っているように思えます。本当は何が大切なのか、何を大切にしなければいけないのか、本当の「豊かさ」とは何か。

これまでつながっていた鎖をちょっと外して野良になってみるとたくさんの事に気付かされます。「野良!」は団体ではなく、本当の「豊かさ」への願いを込めた掛け声です。様々な活動を通じて「野良」がいい意味になることを願っています。



ご意見・ご希望いただければ幸いです。メールアドレス: info@nora.asia まで